

令和4年度

函館白百合学園中学校

オープン模試

国語

令和4年10月2日(日)実施

注意事項

1. 試験時間は45分です。
2. 問題は□から□まであり、12ページまであります。
3. 答えはすべて別紙の解答用紙に記入し、解答用紙だけ出さない。

□ 次の問いに答えなさい。

問1 次の――線のカタカナを漢字に直しなさい。

- | | |
|------------------|----------------|
| ① 私の名前のユライを知る。 | ② 店先にナラんだくだもの。 |
| ③ 母をセツトクするのは難しい。 | ④ きずがナオって良かった。 |
| ⑤ 物品のバイバイをする。 | ⑥ 愛情をソソいでくれた父。 |

問2 次の――線のカタカナを漢字と送りがなに直しなさい。

- | | |
|------------|--------------|
| ① 流れにサカラウ。 | ② ヒヤヤカナ目で見る。 |
|------------|--------------|

問3 次の――線の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

- | | |
|---------------|---------------|
| ① すべての仕事を任せる。 | ② 健やかに過ごしてすか。 |
| ③ やわらかい口調で話す。 | ④ 桜を見ると心が和む。 |
| ⑤ 目線を合わせる。 | ⑥ 試験が目前にせまる。 |

問4 次の漢字の指定された「画」を黒くぬりつぶしなさい。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| ① 建 (七画目) | ② 方 (三画目) | ③ 長 (二画目) |
|-----------|-----------|-----------|

問5 次の慣用句の意味を、ア～エからそれぞれ選びなさい。

- ① 口に出る
- ② 口がかたい
- ③ 口がすべる
- ④ 口をはさむ

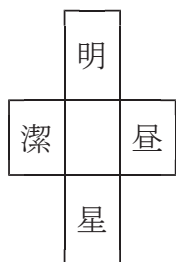
- ア 秘密を守って話さないこと
- イ 人の話の途中とちゆうで話すこと
- ウ 自然に言葉が出ること
- エ 秘密を話してしまうこと

問6 次の言葉とほぼ同じ意味のものを、ア～エからそれぞれ選びなさい。

- ① ひょうたんからこま
- ② ぬかに釘くぎ

- ア 石の上にも三年
- イ のれんに腕押おし
- ウ 月とすっぽん
- エ うそから出たまこと

問7 次の図は、中央に一字を入れると、上下、左右で二字熟語となる。中央の空欄くうらんに入る漢字一字を答えなさい。



問8

(1) 四字熟語の構成を、次のア～エに分類した場合、後の四字熟語はそれぞれになるか、ア～エからそれぞれ選びなさい。

- ア 意味の似た二字熟語を重ねたもの
- イ 反対の意味の二字熟語を重ねたもの
- ウ 一字一字が反対の意味をもつ二字熟語を重ねたもの
- エ 一字一字が対等の関係であるもの

- ① 花鳥風月
- ② 完全無欠
- ③ 古今東西
- ④ 有名無実

(2) 次の()に漢字一字を入れて、四字熟語を完成させなさい。

- ① 異()同音
- ② ()機一転

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

私は研^①究者だが、研究者にとつて、おそらく研究者以外の者にとつても、未来のことを^②考^②えることは大事である。しかし勘^{かん}違^{ちが}いしてはいけないのは、未来には必ず幸せがやってくると^①何^①も考えずに信じることだ。^①常に未来が幸せなら、過去は未来に比べて不幸だったのかということになる。平安時代は今に比べてものすごく不幸だったのだろうか？

^②そんなことはない。

幸せとは*相対的な価値観であつて、^②過去にも未来にも、幸せも不幸もある。幸せがずっと続けば、それは^③当たり前になり、ときには幸せでなくなるとともに、少しの不幸が大きな不幸に感じるようになる。

大事なことは、未来は幸せにならないかもしれないけれど、それでも未来に向かつて人間は生きていくことである。そうなると、人間は幸せになるために生きているのではなく、何か^③別^③の目的があるか、目的のないままに生きていることになる。何の目的もなく、ただひたすらに生きる。本来人間はそうした生き物だったに違いない。動物を見れば、ただひたすらに生きているように見える。しかし、未来を^③予測^③する力を持った人間にとつて、未来を考えずに今をただひたすらに生きるということは、^④難^④しい。未来について考え、そこから今自分がすべきことを考えることで、今自分が生きる意味を感じながら生きることができる。

未来を考える力を持ったがゆえに、未来について^①キタイ^①が持てなくなったとき、人間は動物よりもろく、生きる力を^②ウシ^②なつてしまう。そこに人間の悲しい^④性^④があるように思う。

私は、ずっと人間と関わるロボットの研究をしてきた。特にこの二〇年は、人間理解を目的に人間と関わるロボットの研究に取り組んできた。この人間と関わるロボットの研究を目的に持ったのは、人生の最初からではない。

人生において夢や目的を持つことは大事だが、その夢や目的は、どんどん発展していく必要がある。小さいころの夢は、不十分な情報をもとに、不十分な能力を^③ゼン^③テイ^③に創られたものがほとんどだろう。だから、当然成長して、情報が増え、能力が高まれば、持てる夢も変わってくる。

私は研究者になった後でも、自分が未来においてやるべきことに^④確^④を^④持^④て^④ず^④に^④いた。未来には、ロボット^④社^④会^④は来るように思えるのだけれど、本当に来るのだろうかかと常に思い悩^{なや}んでいた。

(中略) そうしたときに、パソコンの父と④ヨばれるアラン・ケイ氏と話す⑤ギカイがあり、未来においてロボット社会は来ると思うかどうかを聞いた。アランは「君は5クリエティブな人間だ。だったら未来は自分で実現するものだ。人に聞くものではない」と言った。こう言われて、6それまでモヤモヤとしていた未来がはっきりと見えたような気がした。それ以来私は⑥コウエンの中で、ロボットと人間が共生する「ロボット社会」を実現すると7自□を持って言うようになった。未来は予測するものではなく、自分で創るもの。そう考えれば、自分の人生の見通しははるかによくなくなる。不確かな未来のことを考えて思い悩むのではなく、自分で創りたい未来を思い描く^{えが}だけでいい。

(「ロボットと人間 人とは何か」 石黒 浩)

*相対的・・・他と比べることで成り立つもの。

※出題の都合上、漢字などの表記を改めました。

問 1

① 究

② 考

③ 別

④ 社

の漢字の部首名を、ア～キからそれぞれ選びなさい。

ア ふるとり イ おいかんむり ウ うかんむり エ あなかんむり オ しめすへん
カ ころもへん キ りつとう

問 2 〰 線①～⑥のカタカナを漢字に直しなさい。

問 3 ー 線 1 「何も考えずに信じる」とほぼ同じ意味の言葉としてもっとも適当なものを、ア～エから選びなさい。

ア うつつをぬかす イ うのみにする ウ うだつがあらがない エ うむをいわせず

問4 1 4 に入る言葉の組み合わせとしてもっとも適当なものを、ア～エから選びなさい。

ア	決して	1	言わば	2	もはや	3	もし	4
イ	もし		決して		言わば		もはや	
ウ	もはや		もし		決して		言わば	
エ	言わば		もはや		もし		決して	

問5 線2 「過去にも未来にも、幸せも不幸もある」について

(1) 「過去」と「未来」、「幸せ」と「不幸」は反対の意味の言葉（対義語）であるが、ア～ウの対義語を、後の漢字を組み合わせ、二字熟語で答えなさい。ただし、同じ漢字を二度以上用いてはならない。

ア 生産 イ 収入 ウ 複雑

支 費 順 純 出 用 消 単

(2) 「未来」は「未（まだくはない）」、「不幸」は「不（くはない）」という打ち消しの意味を持った字をふくんだ語である。同じように打ち消しの意味をもった字をふくんだ二字熟語を、ア～オから二つ選びなさい。

ア 無限 イ 異常 ウ 非常 エ 縮小 オ 赤字

問6 — 線3 「予測」に関する次の文章を読んで、文章中の（ ）に入る適切な言葉を答えなさい。

ただし、①はひらがなで、②はもつとも適当なものをア・エから選び、③④は漢字一字で答えなさい。

「予測」は「（ ① ）」と読むが、意味がわかりやすくなるように送りがなを加えて読むと「^A予め（あらかじめ）^B測る（はかる）」とすることができ、線A「予め（あらかじめ）」は、②（ア）あらたに イ ゆっくりと ウ ねんいりにまえもつて」という意味である。また、線B「測る（はかる）」は「あれこれ考えてだいたいのところをおしはかる」という意味である。「はかる」は同じ読みでちがう漢字を書く場合もあり、高さを「測る」、時間を「計る」、重さを「（ ③ ）る」などと使い分けられる。これらの他に、「はかる」には、「あることが実現するように努力する・物事を行おうとしてくわだてる」という意味で用いられる「（ ④ ）る」がある。

問7 — 線4 「確□」・7 「自□」の□に共通して入る漢字一字を答えなさい。

問8 — 線5 「クリエイティブ」を、ほぼ同じ意味となるように「□□的」と言いかえたい。次の漢字を組み合わせ、□□に入る二字熟語を答えなさい。

想 起 造 教 創 像

問9 — 線6 「それまでモヤモヤとしていた未来がはっきりと見えたような」とあるが、これとは逆に、「これから進む方向、方角を見ようしなうこと、方針がまったく立たないこと」という意味を持つ次の四字熟語の（ ）に入る漢数字を答えなさい。

（ ） 里霧中むらぐちゅう

三 次の文章は二に続くものである。後の問いに答えなさい。

1 自分が思い描いた未来である「ロボット社会」を実現して、何をしたいのか。単にロボットがたくさん活躍かつやくする社会を創りたいのか。そうではなく、私が創りたいロボット社会とは、ロボットとの関わりを通して人間について多くを学べる社会である。

ア人間と関わるロボットを開発するには、人間について深い知識が必要になる。そして開発したロボットと人間との関わりを観察すれば、そのロボットがどれほど人間に近づいたか知ることができる。

人間は、人間と関わるための脳の機能や体を持っている。ゆえに、人間と関わるロボットを実現するというのは、人間そのものをロボットの技術で創り上げるということでもある。

このように、私が創りたいロボット社会を実現するためには、人間について深く理解する必要があり、人間に対する深い興味が必要にならない。

(中略)

私が創りたい社会とは、自分を映し出し、イ人間とは何かを考えるヒントをたくさん与えてくれるロボットが身の周りで活動する社会、ロボットを通して自分たち人間の存在について深く考えることができる社会である。

ただ、このウ人間理解にはゴールがない。人間理解はほとんどの科学技術の目的であるように、最も難しく、最も重要な問題であるとともに、質たちが悪いのは2この問題の答えは常に変化するということである。

エ人間の「定義」は科学技術の進歩とともに、少しずつ変化してきた。今後も科学技術の進歩や社会の変化に伴い、その「定義」は変わっていく。それゆえ、理解したと思っても次の瞬間しゅんかん変化し、また疑問が膨ふくらむ。それでも私たちは人間は、人間理解をやめないだろうと思う。

そうした人間の未来は、人間にとって幸せなものになるのだろうか。

*先にも述べたように、幸せとは相対的な価値観であって、過去にも未来にも、幸せも不幸もある。幸せがずっと続けばそれは言わば当たり前になり、幸せでなくなる。ゆえに、3未来において幸せは保証されない。

しかし、その中で、多様性は重要だと思う。

もし未来が一つだったら、それを幸せと思う人にとってはいいことだが、それも変化しなければ、幸せはすぐに薄うすれていく。未来がどうあるべきかと考えれば、いくつもの価値観を受け入れてくれる多様性があることだろうと思う。

多様性で思い出されるのは、動物や人間の進化である。未来に向けてよりよい形態に自らを変えていく進化は、未来を予測しているわけではなく、多様な個体をたくさん生み出し、そのうち偶然環境に適応したものだけが生き延びる。むしろ、個体が学んだことが社会の中で引き継がれて、よりよい個体が生まれていくということもあるだろう。しかし、4多様性をうしなつてしまつては、進化は難しい。

では、ロボットの技術は、ひいては科学技術一般は、未来において多様性を生み出すのだろうか。

科学技術は特に人間について、その可能性をどんどんと拡げてきた。人間は科学技術を取り込むことによつて、膨大な情報を扱えるようになり、また秀でた身体能力を持てるようになった。

スマートフォンを使えば、いつでもどこでも世界中に散らばる情報にアクセスできるとともに、自分の記憶能力を代行させることもできる。自動車や飛行機を使えば、走るよりもはるかに速く別の場所に移動できる。

今は、優れた人工義肢が開発され、身体能力はときに「健常者」を上回ることもある。パラリンピックの選手のプレイをみれば、その凄さに感動することも多い。

人間は「完全な肉体」を持つことが必要かと問われれば、今はYESという人はほとんどいないだろう。義手や義足、人工骨、人工臓器などを使っている人は、ますます増えている。技術は、人間の可能性を拡げ、多様性をもたらしてきているのである。

肉体が人間の*要件にないなら、人間は未来においてさらに多様性を拡げる可能性がある。人間の肉体という制約に縛られずに、自由に身体や感覚器や脳の機能を拡張することができる。

このようにして、私たち人間は科学技術を取り込みながら、多様性を増し、さらに進化していく。未来は幸せかどうか解からないが、いろいろな可能性に満ちていることは間違いなく、その可能性は科学技術によつて、さらに拡張されていく。

どのような人間に進化したいのか、人間一人ひとりが思い描く未来のすべてが可能性としてある。5多様性を生み出す□□を^{発展}させながら、それぞれがなりたい未来の人間を思い描きながら、人間の可能性を探究し、人間を理解しようとしている。いまのところ、これが人間として生きることの意味だと思つて。

（「ロボットと人間 人とは何か」 石黒 浩）

※出題の都合上、漢字などの表記を改めました。

*先に述べたように、□□の本文前半でも同様の内容が述べられている。

*要件・・・・・・・・何かを成り立たせるために必要な条件。

問1 ― 線1 「自分が思い描いた未来である『ロボット社会』とあるが、どのような社会か。本文前半から三つさがし、最初と最後の五字ずつをそれぞれ書きぬきなさい。ただし、それぞれ二十五字以上五十字以内でさがすこと。

問2 ― 線2 「この問題」とは何に関する問題か。 〰 線ア、エから適当ではないものを一つ選びなさい。

ア 人間と関わるロボット イ 人間とは何か ウ 人間理解 エ 人間の「定義」

問3 ― 線3 「未来において幸せは保証されない」について、(1)(2)の問いに答えなさい。

(1) 「未来において幸せは保証されない」とあるが、なぜか。このように筆者が考える理由を説明した次の文章の()に入る適切な言葉を、本文中から指定の字数で書きぬきなさい。

その時々の方の感じ方、考え方によって、物事は幸せにも(ア 二字)にも感じられるし、幸せが長く続くと、以前まで幸せだったものが(イ 四字)のものとなり、幸せと感じられなくなることもある。このように、幸せとは周囲の状況によって変化する(ウ 七字)であるため、未来において必ずしも幸せを感じられるとはいえないから。

(2) 「幸せ」となるためにはどのような「未来」であるべきだと筆者は考えているのか。三十字以上五十字以内でまとめなさい。

問4 ― 線4 「多様性をうしなってしまうっては、進化は難しい」とあるが、その理由を説明したものとしてもっとも適当なものを、ア～エから選びなさい。

ア 進化とは、いくつもの価値観を受け入れる未来に向けてよりよい形態に自らを変えていくことであり、多様な価値観のもとでしか進化は生まれないはずだから。

イ 未来を予測してよりよい形態に自らを変えていくことが進化であり、多様な個体をたくさん生み出して生き延びる確率を高めることそのものが進化と言えるから。

ウ 環境に適応したもののだけが偶然生き延び、よりよい形態に自らを変えていくことが進化であり、そのためには多様な個体をたくさん生み出すことが必要だから。

エ 個体が学んだことが社会の中で引き継がれて、よりよい個体が生まれていくという進化は、社会の中で進化を受け入れる多様な人間がいなければ成立しないから。

問5 に入る一文としてもっとも適当なものを、ア～エから選びなさい。

ア 私は答えを待ち続けている。

イ 私は答えを出したくない。

ウ 私の答えはYESである。

エ 私の答えはNOである。

問6 ― 線5 「多様性を生み出す□□□□を發展させながら」とあるが、□□□□に入る四字の言葉を本文中から書きぬきなさい。

国語

解答用紙

受験番号	
名前	

一

問 1

① コライ

② ナラ んだ

③ ヤットク

④ ナホ っ

⑤ バハイ

⑥ ン いで

問 2

①

②

問 3

① せる

② やかに

③

④ む

⑤

⑥

問 4

① 健 ② 方 ③ 長

問 5

① ② ③ ④

問 6

① ②

問 7

問 8

(1) ① ② ③ ④

(2) ① ②

二

問 1

① ② ③ ④

問 2

① キタイ

② ウンナ っ

③ ぜんてい

④ 目 ばれる

⑤ キカイ

⑥ コロヒ

問 3

① 問 4

問 5

(1) ア イ ウ (2)

問 6

① ② ③ る ④ る 問 7

問 8

問 9

三

問 1

問 2

問 3

(1) ア イ ウ

(2)

問 4

問 5

問 6

国語

解答用紙

受験番号

名前

一

- 問 1 ① 由来ユライ ② 並ナラんだ ③ 説得セツトク ④ 治ナホって
- ⑤ 売買バイバイ ⑥ 注ツいで
- 問 2 ① 逆らう ② 冷ややかな
- 問 3 ① まかセせる ② すこヤカやかに ③ くちよう
- ④ なごムむ ⑤ めせん ⑥ もくぜん
- 問 4 ① 建 ② 方 ③ 長
- 問 5 ① ウ ② ア ③ エ ④ イ 問 6 ① エ ② イ 問 7 白
- 問 8 (1) ① エ ② ア ③ ウ ④ イ (2) ① ロ ② 心 各①

30

二

- 問 1 ① エ ② イ ③ キ ④ オ 各①
- 問 2 ① 期待キタイ ② 失ウシつて ③ 前提ゼンテイ ④ 呼ヨばれる
- ⑤ 機会キカイ ⑥ 講演コウエン 各①
- 問 3 イ ② 問 4 イ ② 問 5 (1) ア 消費 イ 支出 ウ 単純 ② ア ウ 各①
- 問 6 ① よそく ② エ ③ 量る ④ 図る 問 7 信 ②
- 問 8 創造 ② 問 9 五 ① 各①

31

三

- 問 1 ロボットとく 学べる社会 ③ 自分を映し 動する社会 ③
- ロボットをく できる社会 ③ 問 2 ア ③
- 問 3 (1) ア 不幸 ③ イ 当たり前 ③ ウ 相対的な価値観 ③
- (2) 一つの価値観にしはられず、変化していく、
いくつもの価値観を受け入れてくれる多様性
がある未来。 ⑥
- 問 4 ウ ④ 問 5 ウ ④ 問 6 科学技術 ④

39

令和4年度

函館白百合学園中学校

オープン模試

国語 解答・解説

令和4年10月2日(日)実施



一

問1 漢字の書き取りの問題

いずれも基本的な漢字であるが、訓読みの漢字の書き取りは正答率が低い傾向にあるので、送りがないも意識して学習すべき。

問2 漢字の送りがないもふくめた書き取りの問題

訓読みの漢字は送りがないに気をつけて覚えたい。

送りがないは、用い方によって語形が変化する部分を送るのが原則。

例えば、「話す」は「話さ(十ない)」「話し(十ます)」のようになるので、変化する語尾「さ・し・す」が送りがないとなる。

ただし、「話します」は動作を表現する言葉(動詞)で用い方によって語形が変化するので送りがない「し」が必要であるが、「先生の話」の場合は名詞(ものの名前を表す言葉)であるので送りがないは必要ない。

① 「サカラウ」は、前述した「送りがないは、用い方によって語形が変化する部分を送る」という決まりであれば、「さからわ(十ない)」「さからい(十ます)」となるので、変化する語尾は、ここでは「わ」「い」、変化しない部分が「さから」となるので「逆う」となるはずである。しかし、正解は「逆らう」。「逆らう」は送りがないの原則から外れる語である。「逆さ」「逆さま」という語から、「逆」を「さか」と読むこともわかる。

② 「ヒヤヤカナ」も送りがないの原則から外れる語。

「冷ややかだ」という語は、物事の状態や性質を表して「くだ。」という形となる語であり、こういった語の送りがないの決まりとして

静かだ 細かだ 暖かだ
 明らかだ 朗らかだ 柔らかだ 平らかだ
 和やかだ 細やかだ 穏やかだ 健やかだ 爽やかだ

のように、「くかだ」「くらかだ」「くやかだ」という語尾を持つものはそこから送り仮名になるのが原則。

「冷やかだ」は、「冷える」という語があり、「冷」を「ひ」と読むため、「冷やかだ」という送りがなになると考えれば良い。

問3 漢字の読みの問題

訓読みや、複数の読みをする漢字に注意したい。

問4 漢字の筆順の問題

正しい筆順で書くと「筆の流れ」で漢字の形を覚えやすく、書きやすいだけでなく、文字のバランスもとれる。これまで学習した漢字の筆順を確認してみよう。

筆順をまちがえやすい漢字

書 何 飛 威 万 臣 左 右 有 希 収

問5 慣用句問題

慣用句は文字通りの意味ではなく、別な意味で慣用的に使われる言葉で、体の一部や、生き物の名前を表す言葉を用いていることも多い。次の慣用句の意味を調べてみよう。

身体の一部を示す言葉を用いた慣用句

首をつっこむ	首を長くする	足が出る	足が早い	頭をかかえる	頭を冷やす
腕が上がる	腕が鳴る	口が重い	口が軽い	腰が重い	腰が低い
手がかかる	手を広げる	鼻が高い	鼻につく	腹を決める	腹を割る
耳が痛い	耳が早い	胸が痛む	胸がすく	目が高い	目と鼻の先

問6 ことわざの問題

ことわざとは、人生に役立つ教訓やいましめ、生活の知恵を示した言葉。類似の意味を持つことわざも多い。意味も考えながら学習したい。

次にあげたのは**類似の意味を持つことわざ**。意味を調べよう。

出題された「ぬかに釘」は解答の他に、意味が類似している別なことわざもあるので確認しよう。

弘法にも筆の誤り 河童の川流れ 猿も木から落ちる	猫に小判 豚に真珠	馬の耳に念仏 馬耳東風	のれんに腕押し 豆腐にかすがい ぬかに釘
--------------------------------	--------------	----------------	----------------------------

問7 漢字の書き取りの問題

「明白」「潔白」「白昼」「白星」で「白」が共通する一字。それぞれの二字熟語の意味も確認しよう。

問8 四字熟語の問題

(1) 四字熟語の構成の問題。知識を問うというよりも、問題文をよく読んで理解することが求められる問題でもある。

- ① 花・鳥・風・月・・・一字一字が対等の関係であるもの
- ② 完全 〓 無欠・・・意味の似た二字熟語を重ねたもの
- ③ 古⇕今 + 東⇕西・・・一字一字が反対の意味の二字熟語を重ねたもの
- ④ 有名 ⇕ 無実・・・反対の意味の二字熟語を重ねたもの

(2) 書きまちがえやすい四字熟語を出題した。

「異口同音(いくどうおん)」は「異句同音」^x、「心機一転(しんきいつてん)」は「新機一転」^xとまちがえてしまうことが多い。それぞれの四字熟語の意味も確認しておこう。

問 1 漢字の部首の問題

部首とは、多くの漢字に共通していて、漢字の「意味」に当たる、漢字の一部。

出題されている漢字の部首と、部首が意味するものは

- 究（あなかんむり・・・からのもの・穴・穴の奥をさぐること） 考（おいかんむり・・・年老いる）
 別（りつとう・・・刀・するどいもの） 社（しめすへん・・・人を超えた存在・神に関わるもの）

代表的な部首は、それが意味するもの、形を覚えておくと良い。

にんべん	ぎょうにんべん	りつしんべん	てへん	さんずい	ごんべん
こざとへん	にくづき	きへん	のぎへん	しめすへん	ころもへん
りつとう	さんづくり	ほこづくり	るまた	おおざと	おおがい
なべぶた	うかんむり	くさかんむり	おいがしら	はつがしら	あなかんむり
れんが（れつか）					たけかんむり
えんによ	しんによ	そうによ			
がんだれ	まだれ	やまいだれ			
くにかまえ	ぎょうがまえ	もんがまえ			

問 2 漢字の書き取りの問題

「キカイ」は「機会」「機械」、「コウエン」は「講演」「公園」「後援」など同音異義語がある。意味を考えて使い分けたい。

問 3 慣用句・和語の問題

慣用句については問 5 の解説を確認しよう。慣用句は生き物の名前を表す言葉を用いていることも多いが、「うのみにする」も「鶉」という鳥の名を用いている。

「うのみにする」は、鶉が魚を食べる際、丸のみにするという習性から生まれた言葉。他の言葉も意味を確認しよう。

問4 係り受けの問題

「決して〜ない」「もし〜ならば」「ぜんぜん〜ない」「たとえ〜でも」「まさか〜まい（ないだろう）」などという形で「係り受け」が決まっている言葉がある。

「1 ……幸せなら」とあるので「もし」、**「2 そんなことはない」とあるので「決して」**が係り受けとして適当。

問5 対義語（反対の意味の言葉）の問題

(1) 答えは、(生産⇕)消費 (収入⇕)支出 (複雑⇕)単純 いずれも基本的な対義語。

他にも次のような**対義語**を意味もふくめ、覚えておきたい。

間接	直接	奇数	偶数	拡大	縮小	異常	正常	決定	未定	欠席	出席	点火	消火
長所	短所	直線	曲線	安心	心配	全体	一部	向上	低下	需要	供給	原因	結果

(2) 「不（〜ない）」・「無（〜がない）」・「非（〜ではない）」・「未（まだ〜ない）」という打ち消しの意味を持った字をふくんだ二字熟語に関する問題。「無限」は「限りがない」、「非常」は「常（いつも通り）ではない」という意味。

「不□」「無□」「非□」「未□」となる二字熟語を挙げてみよう。

問6 二字熟語・語意・同訓異字の問題

この問題文にもあるように、熟語を学習するときは、漢字一字ずつが持つ意味にも注目して、熟語の意味をとらえると良い。また、「はかる」のような同訓異字・同訓異義語は意味を考え、使い分けができるようにしたい。

他にもこのような**同訓異義語**も覚えたい。() は意味。

あく……空く(からになる) 開く(ひらく) 明く(目が見えるようになる。期限が終わる)
 あげる……上げる(高い方に動く。与える。声を出す。終わる) 挙げる(はっきりと示す。結果を残す。行う)
 あたたかい……暖かい(気候や気温が寒くない) 温かい(愛情や思いやりが感じられる。冷たくない)
 あつい……暑い(気温が高い) 熱い(温度がとても高い。感情が高ぶる)

問7 二字熟語の問題・文脈を読み取る問題

□は大部分が語句に関する問題であるが、問7は文脈をしつかり読み取って答える必要がある。

「私は……確□を持ってずにいた。……ロボット社会は……本当に来るのだろうかと常に思い悩んでいた。」とあるが、筆者は、未来において、自分が何をすべきか、ロボット社会が本当に来るのか、自信(＝確信)を持ってずにいたということが語られる。しかし、アラン氏の言葉によって「……未来がはつきりと見えたような気がした。……『ロボット社会』を実現すると自□を持って言うようになった。」と、ロボット社会を自らが実現する自信が生まれたと語る。

問8 外来語を言い換える問題

答えは、クリエイティブ＝創造的

外来語(カタカナ語)は日常の中でもよく使う。外来語に限らず、「別な言葉で言い換える」とどのような言葉になるか」という視点をもっているとはボキャブラリー(自分が使える言葉)が増えるという面もある。

次にあげるのは外来語を熟語に言い換えたもの。

- スピーチ＝演説 スキル＝技能 ツール＝道具 アドバイス＝助言 メリット＝利点
- ポジティブ＝積極的 ネガティブ＝消極的

問9 四字熟語の問題

「先がはつきり見えないこと」を「五里霧中」という四字熟語で表す。

漢数字を使った四字熟語(特に「一」を使ったもの)は多いので意識して学習したい。次の四字熟語の意味も調べてみよう。

- 七転八倒 (しちてんぱつとう) 十人十色 (じゅうにんといろ) 四苦八苦 (しくはっく)
- 千差万別 (せんさばんべつ) 一心同体 (いっしんどうたい) 一世一代 (いっせいいちだい)
- 一石二鳥 (いっせきにちょう) 一期一会 (いちごいちえ) 一部始終 (いちぶしじゅう)
- 一日千秋 (いちじつせんしゅう) 一長一短 (いちちょういつたん) 一朝一夕 (いちぢょういつせき)

三

例年、一五〇〇〇〜二〇〇〇字程度の文章の読解問題を出題しているが、今回は、例年より長く、二〇〇〇字を少し超える文章。

自身にそっくりなアンドロイドをつくるなどして話題となった、ロボット学の世界的第一人者である、石黒浩の評論、『ロボットと人間 人とは何か』（岩波新書）からの出題である。二の問題文に続く文章。三の本文の内容をまとめると、次のようになる。

私が思い描く「ロボット社会」、ロボットとの関わりを通して人間について多くを学べる社会をつくるためには、人間に対する深い興味・理解がなければならぬが、科学技術の進歩とともに、人間の定義（人間とは何かということ）は常に変化する。その中で私たちは人間理解をやめないだろう。

未来が幸せであるためには、いくつもの価値観を受け入れる多様性があるべきだが、ロボットの技術、ひいては科学技術は、未来において多様性を生み出すものだ。多様性を生み出す科学技術を発展させながら、それぞれがなりたいた未来の人間を思い描きながら、人間の可能性を探究し、人間を理解しようとするのが、人間として生きることの意味だ。

問1 文脈をとらえる問題・言い換えの語句をさがす問題

こういった論理的な文章を読む場合は、キーワード（文章を理解するのに欠かせない重要語）、キーセンテンス（文章を理解するのに欠かせない重要語句・文。筆者の主張が述べられている語句・文。中心文）をとらえながら読むことが大切。

本文前半は「ロボット社会」の実現のために、まずは人間を理解することが大切だということが中心に語られている。

「自分が思い描いた未来である『ロボット社会』と次の行の「私が創りたいロボット社会」、10行目「私が創りたい社会」が同じ内容であることを見つけられれば、「私が創りたい（ロボット）社会とは」の二カ所の直後に具体的な説明がある。問題が「どのような社会か」というもので、これに対応する解答は、書きぬきの問題でなければ「社会」という文末にすべきだが、ここでは書きぬき。書きぬくべき三つはすべて「社会」となっている点も大きなヒント。

1 自分が思い描いた未来である「ロボット社会」を実現して、何をしたいのか。単にロボットがたくさん活躍する社会を創りたいのか。
(2行目) そうではなく、私が創りたいロボット社会とは、ロボットとの関わりを通して人間について多くを学べる社会である。

(10行目)
私が創りたい社会とは、

自分を映し出し、人間とは何かを考えるヒントをたくさん与えてくれるロボットが身の周りで活動する社会、
ロボットを通して自分たち人間の存在について深く考えることができる社会である。

問2 指示語の内容を問う問題・言い換えの語句をさがす問題

「この問題」(指示語)が指し示すこと、また、それと同じ意味の語句を見つける問題。

原則として、「これ」「この」のような指示語はそれよりも前の部分を指し示す言葉であるが、指示語をふくむ文、またその前後の文が読解の上で大切である。次に、指示語をふくむ文を挙げる。

人間理解はほとんどの科学技術の目的であるように、最も難しく、最も重要な問題であるとともに、質が悪いのはこの問題の答えは常に変化するということである。

まず、この一文から「人間理解は……最も重要な問題」||「この問題」ととらえることができる。つまり、「この問題」とは「人間理解」であるから、ウ「人間理解」を言い換えた表現であるイ「人間とは何か」、エ「人間の定義(人間を成り立たせるもの)」も「この問題」。ア「人間と関わるロボット」が残り、「適当ではないもの」として選ぶことができる。

問3 本文の内容・筆者の主張をとらえる問題

(1)

理由を答える問題であることから、直前の「ゆえに」に注目する。「ゆえに」(Ⅱ「だから」)というつながりの言葉の前には理由が述べられている。本文を見てみよう。

先にも述べたように、**A** 幸せとは相対的な価値観であって、過去にも未来にも、**B** 幸せも不幸もある。
c 幸せがずっと続けばそれは言わば当たり前になり、幸せでなくなる。

ゆえに、³ 未来において幸せは保証されない。

問いは右の本文「ゆえに」の前をまとめている。

その時々の人々の感じ方、考え方によって、

物事は幸せにも(ア 二字)にも感じられるし、

幸せが長く続くと、以前まで幸せだったものが(イ 四字)のものとなり、幸せと感じられなくなることもある。

このように、幸せとは周囲の状況によって変化する(ウ 七字)であるため、

未来において必ずしも幸せを感じられるとは言い切れないから。

—— 線B・Cの言い換えはこのようになっており、ここから、アは「不幸」、イは「当たり前」とわかる。

—— 線Aの言い換えをとらえるのが難しい。そのためには、特にⅡの注にある「相対的」の意味を確認しておく必要がある。「相対的」は「他と比べることで成り立つもの」という意味であり、「時代や周囲の状況によって変わっていくもの」とも言える。

~~~~~ 線「その時々の人々の感じ方、考え方によって」「幸せとは周囲の状況によって変化する」と、幸せが「相対的」なものであることが述べられる。このことからウには「相対的」という語が入りそうだが、七字の指定、文脈からすると、「幸せとは……相対的な価値観である」とするのが適当。よってウは「相対的な価値観」。



(2) 本文にもとづいて筆者の考えをまとめる問題。

…ゆえに、**3** 未来において幸せは保証されない。

**しかし**、その中で、**多様性は重要だ**と思う。

もし未来が一つだったら、それを幸せと思う人にとってはいいことだが、それも変化しなければ、**幸せはすぐに薄れていく**。

**未来がどうあるべきか**と考えれば、**いくつもの価値観を受け入れてくれる多様性があることだろう**と思う。

**しかし** の後は、筆者の主張が強調され述べられる場合もあり、注目すると、**と思う** という表現もくり返される。ここから

線はキーセンテンス、筆者の主張・考えととらえられる。また、問いの「どのような「未来」であるべきだと筆者は考えているのか」と**未来がどうあるべきか** は同表現。ここから「いくつもの価値観を受け入れてくれる多様性がある未来。」という解答を作ることができるが、これでは三十字以上という条件を満たさないのでさらに説明を加える。~~~~線は、幸せは「一つ（の価値観）」だけではなく、「変化しなければ」「薄れていく」と述べている。つまり、たとえ幸せであっても、未来が一つの価値観にしばらく、変化しないことはよくないと筆者は考えている。この点を加えると良い。

**【解答例】**

一つの価値観にしばらくは変化していく、いくつもの価値観を受け入れる多様性がある未来。

問4 文脈をとらえる問題・理由を答える問題

—— 部分が本文の内容と明らかに合っていない。

ア 進化とは、いくつもの価値観を受け入れる未来に向けてよりよい形態に自らを変えていくことであり、多様な価値観のもとでしか進化は生まれえないはずだから。

イ 未来を予測してよりよい形態に自らを変えていくことが進化であり、多様な個体をたくさん生み出して生き延びる確率を高めることそのものが進化と言えるから。

エ 個体が学んだことが社会の中で引き継がれて、よりよい個体が生まれていくという進化は、社会の中で進化を受け入れる多様な人間がいなければ成立しないから。

問5 問6 文脈をとらえる問題・筆者の主張をとらえる問題・キーワードをとらえる問題

二つの問いは関わりがあるのであわせて考えたい。

「ロボットの技術は、ひいては科学技術一般は、未来において多様性を生み出すのだろうか。」という自問に対し、自らと答えている。この後の文章で筆者は科学技術によって多様性が生み出されていくことをくり返し述べている。ここから問5は「……科学技術一般は……多様性を生み出すのだろうか」に対する答えとして、「ウ 私の答えはYESである。」と肯定していることがわかるし、問6 「多様性を生み出す□□□□」の空欄に入るの「科学技術」となる。

本文において「ロボット」「人間」「未来」「多様性」「進化」「科学技術」「可能性」はキーワードと言える。